

令和六年度学校文集  
【令和六年八月】

令和六年度学校文集【令和六年八月】

A traditional Japanese water fountain (inlet) with a stone basin and a wooden frame.

トル泳げそうだったので、夏休みも練習をがんばりたいです。たくさん成長できた一学期だったので、二学期もやる気をもつてがんばりたいです。

夏の日だ  
すつきりあるよ  
川の音  
セミの音楽  
ますます聞こえる



## 『一学期終業式・児童代表発表』

一学年二組  
古河來羽

せぐせ、一歩前に進むつたじと  
一つ前の歩み。

いつぞしれ いかぐにたのかネか力す。が  
とも、ゆんくまらりゆつトし爾えを。一  
もうでうしやましフをびたンかをるし音つ  
すれきすゆしたアしくでネつなのまがすくは、  
かしるるうか。ソたぐスルたらがすくは、  
しかよのしつラあり。のでいつ。で  
いっうはまたシとをドゆすましーは音、  
きたに、しのド、しレヒビガシヨ学、  
よでなたたで、ミク、たうきけくの  
くすつい。ドをどますまぐとくはん、ばじゅ  
を。たへた何ひうますまぐとくはん、ばじゅ  
ひとつんく回いし。でしりけん  
いぎきださもしてそひがにちぢれけん  
てははつん何しものいむらミんハギ  
み、たれ回ま中ゆたずドものいみばよ  
たもとけんもつゆびあかしもトんもう  
てびくとしミズンでニで

しつたるうたつじしほ  
たど二いのにりたやたく二  
いう学氣でししとん。はつ  
とをきもててもけじ、日  
思がもちもい、だんやじは、  
いん、につるクちをんや  
まばべなととラをしけんか  
す。つんりた、スみてんけか  
てきまのぼみん、がんり  
、よししくんなさかがか  
たうたいもなでいりかり  
のや こうがおごはりに  
しか それたいまみにな  
すりそ うのわでんなり  
すりご そを考くねの  
くそ えな

かぐのはら泳メ よきほそないで  
つこ記つつの！ 三つになります  
たとろたた時トつになまきをかした。  
でがくりり間ルもは、まうれるま  
すで会しに息い水泳です。  
あまはしきまがせんです。  
と少しだめのこんで  
しでと十三メ練をはじめ  
二てメ習を教えて  
十も！ さがて、は  
五うトさがて、は  
メれルいがて、  
し泳後んも水十

一学期をふり返つて  
四年一組 三樹 日和

〔終業式 令和六年七月十九日〕

時止あるまほづ  
三年一組 田中 華音

わたしも一時止められました。



つえわわたしがもし止められるまほうを使わなければなりません。なぜかいたいです。ついでなと、なさいたいです。遊びに帰れたすにきうす。遊びに帰れたすにきうす。遊びに帰れたすにきうす。



【宮田】とも新聞『学園歌壇』  
令和六年七月二十七日

土曜日の夜、しお見と本谷川にホタルを見に行きました。しお見には、一匹もいなくて本谷へ行きました。「ホタルは、いてないかもね」と車のエンジンを切る

「鳴  
クグき  
ワ声  
ルツが  
ルグし  
ルワま  
ルツし  
。た。

た何てお力声  
とかく母ジのきクグキ  
思黄れさ力力れ | ワ声  
つ色まんガエイルツが  
たにしがエルなルグし  
ら光た教ルは鳴ルルツ。  
ーつ。えと、きルツ。  
び



たと思つたら一び  
きだけ木タルがまつていました。  
山帰り道、道路まん中にしかが一頭、  
山の方へにげて行きました。はんた  
らしいの田んぼの方を見ると小さいの  
しら大。五七頭いのまかた。  
ついしかのむれが五七頭いのまかた。  
クワクししました。

朝が来た図が  
鳥の声の合図が  
鳥の朝が来た図が



【宮崎日日新聞『若い目』  
令和六年七月十九日】

令和六年七月十九日

六年一組 鈴木 琉仁